

お知らせ

令和元年7月26日

同時資料提供先

合同庁舎記者クラブ、鳥取県政記者会、島根県政記者会、
 岡山県政記者クラブ、広島県政記者クラブ、山口県政記者クラブ、
 山口県政記者会、山口県政滝町クラブ、中国地方建設記者クラブ

水生生物調査参加団体が16団体新たに増加
 ～平成30年度 水生生物調査の実施結果をとりまとめ～

小学生を中心に多くの参加団体と実施している水生生物調査について、平成30年度の結果をとりまとめました。
 中国地方の一級河川の71地点において、56団体、延べ2,110名の参加があり、平成29年と比較し、16団体が新たに増えました。

今回実施した水生生物調査は、川底の生物を調べることで、河川の水質を誰でも簡単に判定ができる住民参加型の調査です。
 今回の結果は、階級Ⅰ（きれいな水）と階級Ⅱ（ややきれいな水）に判定された地点が全体の93%で概ね良好な状態でした。

この水生生物調査は、河川愛護や水質浄化等への関心を高めてもらうことも目的としています。
 令和元年度も夏休みを中心に本調査を実施しますので、是非ご参加ください。



水生生物調査の状況

○問い合わせ先			
国土交通省中国地方整備局			
電話番号 (082) 221-9231 (代表)			
(担当) 河川部	河川計画課長	わだ ひろき 和田 紘希	(内線3611)
(担当) 河川部	建設専門官	わかい かつみ 若井 克文	(内線3618)
(広報担当窓口)	広報広聴対策官	いわした やすひさ 岩下 恭久	(内線2117)
	企画部 環境調整官	さかもと やすまさ 坂本 泰正	(内線3114)

中国地方整備局 令和元年度 水生生物調査の実施について

令和元年度も引き続き、水生生物調査を実施します。詳細については中国地方整備局の窓口までお問い合わせください。

(お問い合わせ先)

- 中国地方整備局の窓口（一級河川 国管理区間に関するもの）

事務所名	HPのURL	担当水系名	電話番号	担当部課名
鳥取河川国道事務所	http://www.cgr.mlit.go.jp/tottori/	千代川	0857-22-8435	河川管理課
倉吉河川国道事務所	http://www.cgr.mlit.go.jp/kurayoshi/	天神川	0858-26-6221	河川管理課
日野川河川事務所	http://www.cgr.mlit.go.jp/hinogawa/	日野川	0859-27-5484	調査設計課
出雲河川事務所	http://www.cgr.mlit.go.jp/izumokasen/	斐伊川	0853-21-1850	河川環境室
浜田河川国道事務所	http://www.cgr.mlit.go.jp/hamada/	江の川(島根県)	0855-22-2480	河川管理課
		高津川		
岡山河川事務所	http://www.cgr.mlit.go.jp/okakawa/	吉井川	086-223-5101	調査設計課
		旭川		
		高梁川		
福山河川国道事務所	http://www.cgr.mlit.go.jp/fukuyama/	芦田川	084-923-2620	調査設計第一課
三次河川国道事務所	http://www.cgr.mlit.go.jp/miyoshi/	江の川(広島県)	0824-63-4121	河川管理課
太田川河川事務所	http://www.cgr.mlit.go.jp/oitagawa/	太田川	082-221-2436	管理第一課
		小瀬川		
山口河川国道事務所	http://www.cgr.mlit.go.jp/yamaguchi/	佐波川	0835-22-1890	河川管理課
中国地方整備局	http://www.cgr.mlit.go.jp	13水系	082-221-9231	河川部
				河川計画課

平成30年度

水生生物による水質の簡易調査の実施結果

中国地方整備局

調査状況 - 1

千代川水系 千代川 ^{もちがせ} 用瀬地点 (鳥取県)



天神川水系 小鴨川 ^{しもおおえしんすいこうえん} 下大江親水公園 (鳥取県)



日野川水系 日野川 ^{くずもぜきかりゅう} 車尾堰下流地点 (鳥取県)



斐伊川水系 神戸川 ^{さと} わかあゆの里地点 (島根県)



高津川水系 匹見川 ^{よこた} 横田地点 (島根県) 江の川水系 馬洗川 ^{やつぎみずべのがっこう} 八次水辺の楽校地点 (広島県)



調査状況 - 2

吉井川水系 金剛川 ^{みやばし} 宮橋地点 (岡山県)



吉井水系 吉井川 ^{わけ} 和気地点 (岡山県)



芦田川水系 芦田川 ^{しらさぎばし} 白鷺橋地点 (広島県)



芦田川水系 芦田川 ^{やまてばし} 山手橋地点 (広島県)

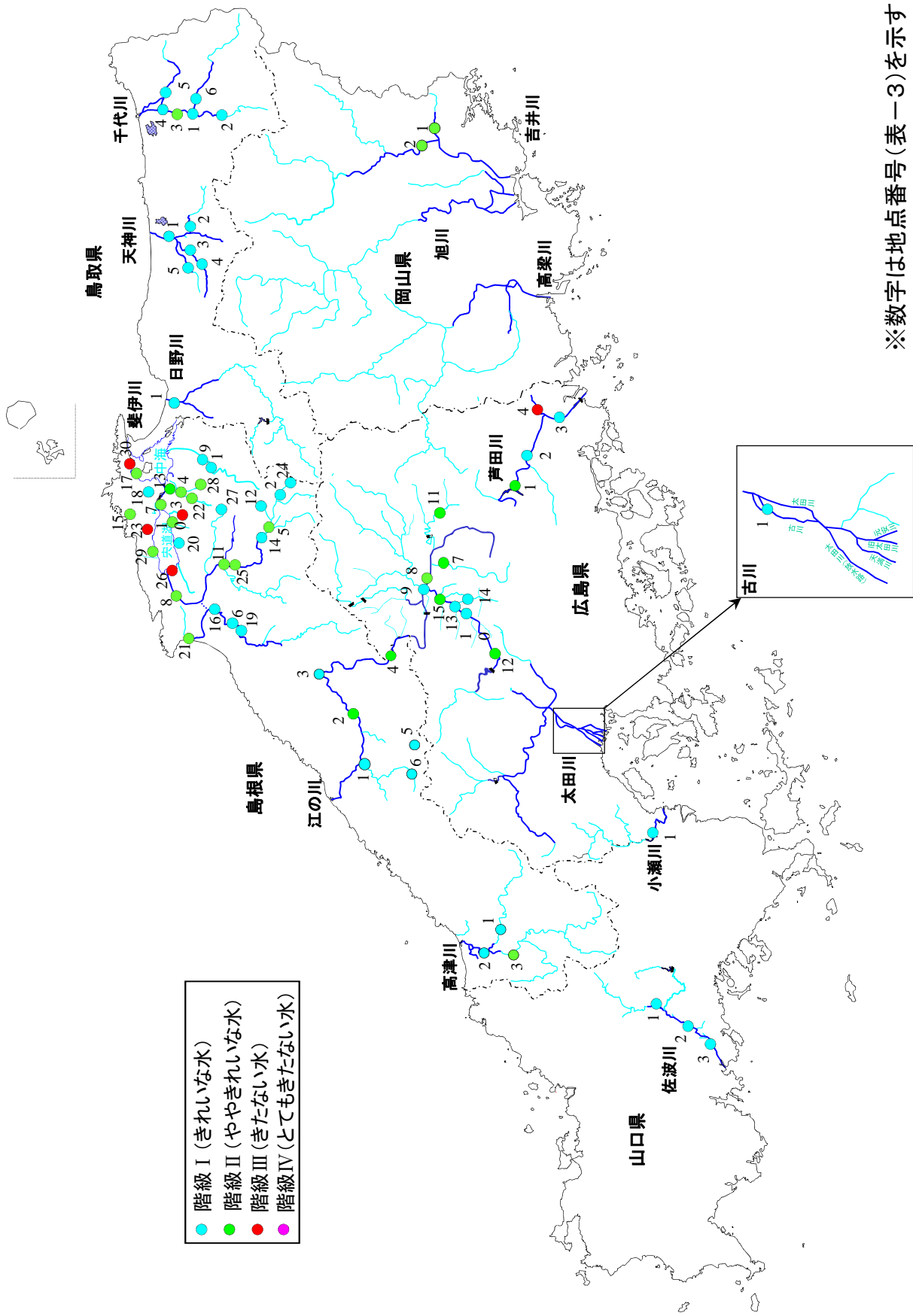


小瀬川水系 小瀬川 ^{りょうごくばし} 両国橋地点 (山口県)



佐波川水系 佐波川 ^{もとばし} 本橋地点 (山口県)





※数字は地点番号(表-3)を示す。

調査地点概要図(中国地方整備局)

1. 調査の目的

川底にどのような生物が住んでいるかを調べることにより、河川の比較的長い期間の水質の状態を知ることができます。

そのため、国土交通省と環境省では、それぞれ昭和59年度から「水生生物による水質の簡易調査」（以下「水生生物調査」という。）をはじめています。

水生生物調査は、誰にでも簡単に水質の判定ができるので、小学生を中心に、中学生、高校生等、多くの方々に参加していただき、私達の身近な存在である河川に対して、河川愛護や水質浄化等への関心を高めてもらうことも目的として実施しています。

2. 参加者数と調査地点数

中国地方の一級河川の71地点において、小学生を中心に、56団体、延べ2,110名の参加を得て実施

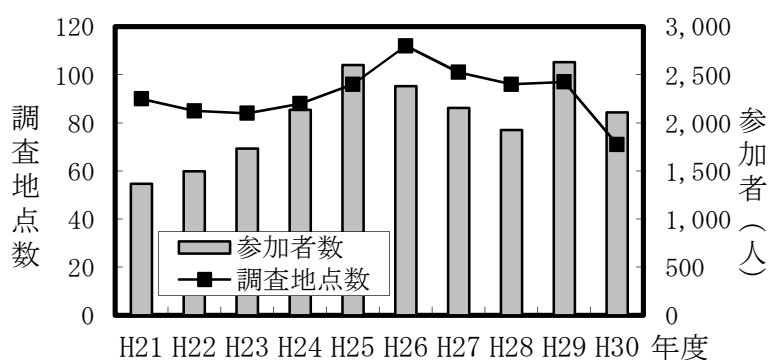


図-1 参加者数と調査地点数

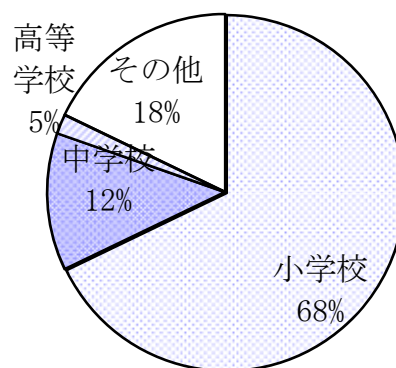


図-2 平成30年度 調査参加団体構成比

平成30年度の調査は、中国地方の一級河川の71地点において、6月から10月にかけて、56団体、延べ2,110人の参加を得て実施しました（P. 7 表-2 参照）。

多くの子供達に参加していただいたことで、大変貴重なデータを得ることができました。子供達にとっても、水に親しみながら調査をしたことで”きれいな川”に対する具体的なイメージを持っていただく機会になったと思います。

3. 調査の方法

水生生物調査は、国土交通省水管理・国土保全局編「川の生きものを調べよう～水生生物による水質判定～」に基づいて、川底に生息する水生生物を採取し、表-1に示す『水のきれいさ』の指標となっている生物の種類数と個体数により、川の水質状況を判定するものです。

表-1 水のきれいさの程度（階級）とその指標となる生物

階級Ⅰ（きれいな水）	階級Ⅱ（ややきれいな水）
ナミウズムシ ヒラタカゲロウ類 ヘビトンボ ヤマトビケラ類 アミカ類	サワガニ カワゲラ類 ナガレトビケラ類 ブユ類 ヨコエビ類
カワニナ類 コガタシマトビケラ類 ヒラタドロムシ類 ○ヤマトシジミ	コオニヤンマ オオシマトビケラ ゲンジボタル ○イシマキガイ
階級Ⅲ（きたない水）	階級Ⅳ（とてもきたない水）
タニシ類 ミズムシ ○ニホンドロソコエビ	シマイシビル ミズカマキリ ○イソコツブムシ類
	サカマキガイ アメリカザリガニ チョウバエ類

注) ○は海水の少し混ざっている汽水域の生物

<階級の判定方法>

- ・調査地点毎に、見つかった個体数の多かった指標生物2種類（ただし、3種類の指標生物がほぼ同じ個体数であった場合は、最大3種類）に2点、それ以外の指標生物に1点をつける。
 - ・各階級毎に各指標生物の点数を合計する。
 - ・合計点数のもっとも多い階級をその地点の水質階級と判定する。
 - ・ただし、複数の階級が同点の場合は、水質の良い階級をその地点の階級とする。
- 例えば、階級Ⅰと階級Ⅱが同点の場合は階級Ⅰとする。

4. 調査結果概要

階級Ⅰと階級Ⅱに判定された地点が全体の93%

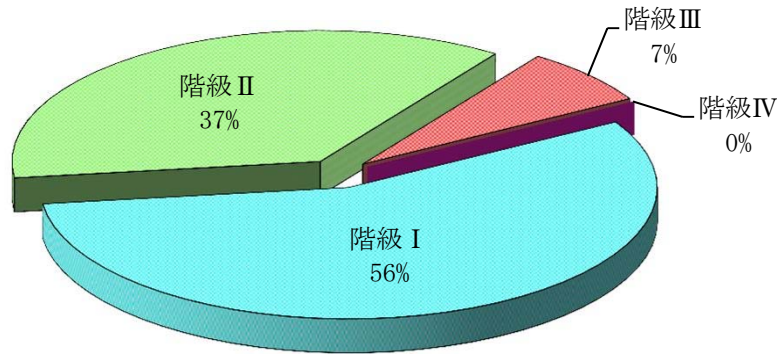


図-3 平成30年度 水質階級構成比

水生生物調査71地点の判定結果は、階級Ⅰ（きれいな水）が40地点、階級Ⅱ（ややきれいな水）が26地点、階級Ⅲ（きたない水）が5地点、階級Ⅳ（とてもきたない水）が0地点でした。

階級Ⅰ（きれいな水）と階級Ⅱ（ややきれいな水）に判定された地点が全体の93%であり、中国地方の一級河川の水質は概ね良好な状態でした。

今後も、水質の良好な状態を保つため、生活排水などが河川の水質に及ぼす影響について、関心をもっていただきたいと思います。

中国地方の一級河川の水質は、良好な状態を維持

図-4は、過去10年間の水質階級の推移を表したものですが、階級Ⅰ（きれいな水）と階級Ⅱ（ややきれいな水）の比率は93～99%であり、中国地方の一級河川の水質は、継続的に概ね良好な状態を維持しています。

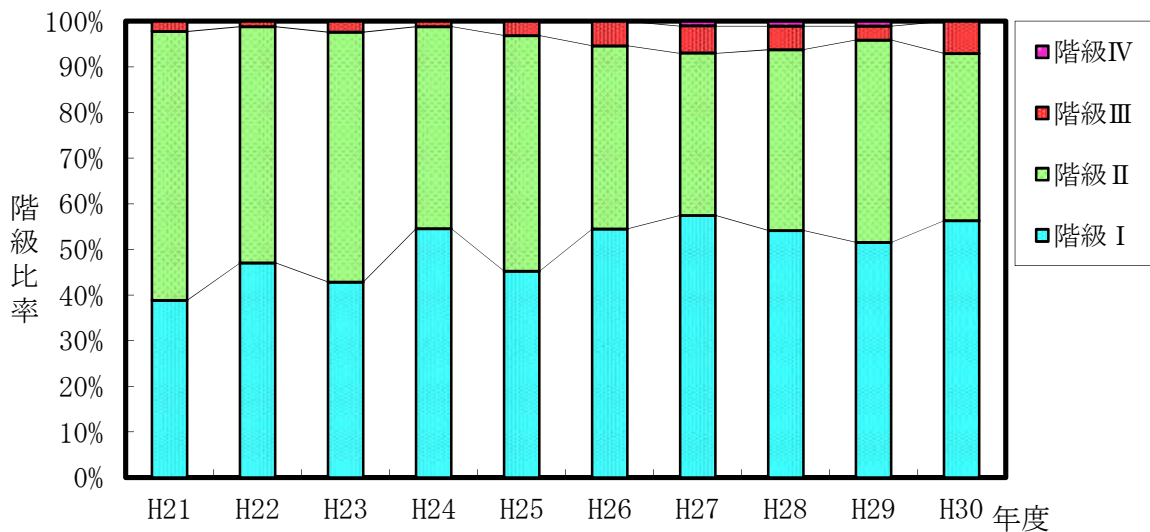


図-4 判定水質階級比率の推移

5. 河川別参加者数、参加団体等集計

表－2 水生生物調査 「平成30年度実施結果」

(階級Ⅰ (きれいな水) 階級Ⅱ (ややきれいな水) 階級Ⅲ (きたない水) 階級Ⅳ (とてもきたない水))

県名	水系名	調査地点数 (地点)	参加者数 (人)	参加団体数 (団体)		判定階級 (地点)				
						Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	未評価
鳥取県	千代川	6	51	2	(0)	5	1	0	0	0
	天神川	5	267	7	(1)	5	0	0	0	0
	日野川	1	0	0	(0)	1	0	0	0	0
島根県	斐伊川	30	1171	25	(7)	12	14	4	0	0
	江の川下流	6	117	6	(3)	4	2	0	0	0
	高津川	3	89	2	(2)	2	1	0	0	0
岡山県	吉井川	2	42	2	(1)	0	2	0	0	0
広島県	江の川上流	9	353	9	(2)	4	5	0	0	0
	芦田川	4	8	2	(0)	2	1	1	0	0
	太田川	1	0	0	(0)	1	0	0	0	0
広島県・山口県	小瀬川	1	0	0	(0)	1	0	0	0	0
山口県	佐波川	3	12	1	(0)	3	0	0	0	0
合計		71	2,110	56	(16)	40	26	5	0	0
						56%	37%	7%	0%	0%
前年 (平成29年度)		97	2,631	80		50	43	3	1	0
						52%	44%	3%	1%	0%

※合計の%は未評価を除く地点の評価です。

※ () は平成30年調査から新たに参加した団体数です。

【参加団体内訳】		
小学校	38団体	(10団体) 1,685人
中学校	7団体	(1団体) 120人
高等学校	1団体	(0団体) 21人
その他	10団体	(5団体) 284人

56団体 (16団体) 2,110人

表一3 水生生物調査「平成30年度実施結果」(鳥取県)

● : 特に多く確認された(2点)、○ : 確認された(1点)

水系名	河川名	地点番号	調査地点名	調査地点地名	調査月日	調査団体名等	参加者数(延べ)	H30判定階級	階級 I (さいはいな水)											階級 II (ややさいいな水)											階級 III (きたないな水)											H29判定階級	備考
									カワダラ	ナガレトビケラ	ヤマトビケラ	ヒラタカグロウ	ヘビトンボ	フユ	アミカ	ナミウズムシ	サワガニ	ヨコエビ	ヨガシマトビケラ	オオシマトビケラ	ヒラタドROMシ	ゲンジボタル	コオニヤンマ	カワニナ	ヤマトシジミ	イシマキガイ	ミズムシ	スズカマキリ	シマイシビル	タニシ	イソコフブムシ	ヒネンドロコエビ	ユスリカ	チョウバエ	エゾフミミズ	サカマキガイ	アメリカザリガニ						
千代川	千代川	1	袋河原	鳥取県鳥取市河原町河原	7月13日	河原第一小学校	31	I	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	I										
		2	用瀬	鳥取県鳥取市用瀬町用瀬	9月7日	用瀬小学校	20	I	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	I										
		3	瀬太	鳥取県鳥取市国安	7月18日	直営	-	II	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-										
		4	古市	鳥取県鳥取市古市	7月2日	直営	-	I	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-										
		5	大杵	鳥取県鳥取市大杵	7月3日	直営	-	I	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	I										
		6	片山	鳥取県鳥取市河原町片山	7月17日	直営	-	I	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-										
天神川	天神川	1	小田橋下	鳥取県倉吉市小田	7月14日	倉吉児童クラブ*	40	I	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	I											
		2	大瀬水辺の楽校	鳥取県倉吉市大江	7月20日	北瀬中学校	11	I	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	I											
		3	下大江親水公園	鳥取県倉吉市下大江	9月7日	河北小学校	65		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○											
		4	上小鴨水辺の楽校	鳥取県倉吉市鴨河内	7月17日	三朝西小学校	49	I	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	I										
		5	北谷小学校前	鳥取県倉吉市北谷	7月13日	小鴨小学校	78	I	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	I										
日野川	日野川	1	車尾堰下流	鳥取県米子市上福原地先	7月12日	上小鴨小学校	11	I	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	I											
		2	12 地点		8月31日	北谷小学校	13	I	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	I											
計	計	小学校	7 校		8月24日	直営	-	I	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	I												
		中学校	1 校				267人	H30判定階級																																			
		高校	0 校				11人	I (11)	92%																																		
		大学	0 校				0人	II (1)	8%																																		
		一般	1 団体				0人	III (0)	0%																																		
		計	9 団体					40人	IV (0)	0%																																	
計							318人																																				

水生生物調査の概要

川底にどのような生物が住んでいるかを調べることにより、河川の比較的長い期間の水質の状態を知ることができます。そのため、国土交通省と環境省では、それぞれ昭和59年度から「水生生物による水質の簡易調査」（以下「水生生物調査」という。）をはじめめています。

この水生生物調査は、適切な指導のもと、誰にでも簡単にできるようになっています。

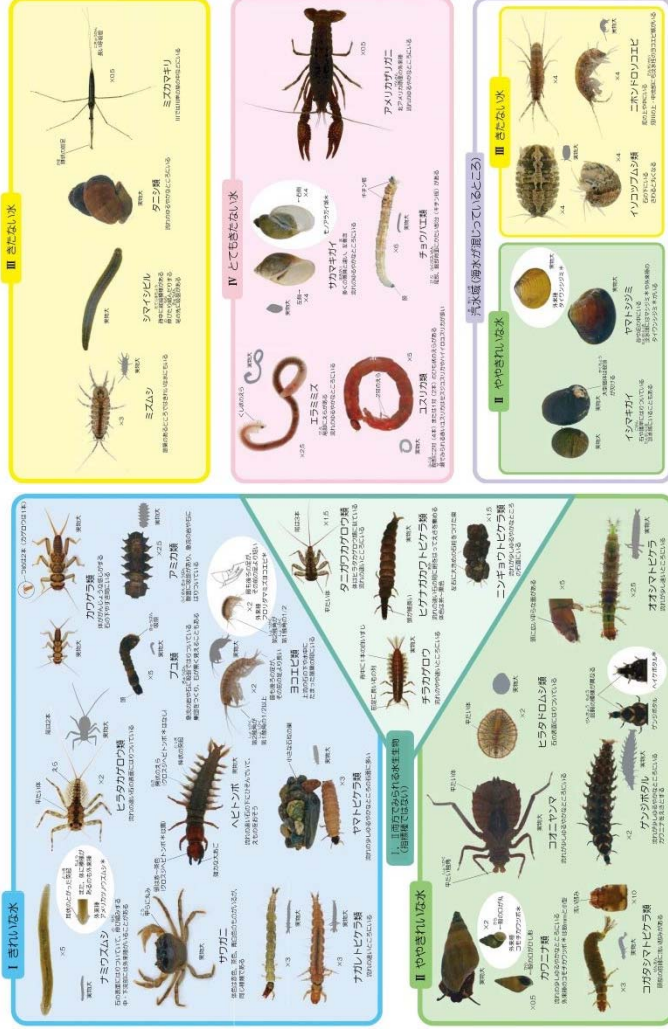
調査方法

本調査では、水生生物のうち、①全国各地に広く分布し、②分類が容易で、③水質の指標性が高い29種を指標生物としています。

水生生物を採集して、指標生物を分類し、地点毎に、階級Ⅰ（きれいな水）、階級Ⅱ（ややきれいな水）、階級Ⅲ（きたない水）、階級Ⅳ（とてもきたない水）の4階級に分けて水質を判定します。



国土交通省水管理・国土保全局編「川の生きものを調べよう～水生生物による水質判定～」より



水質階級と指標生物

階級Ⅰ（きれいな水）の生物	階級Ⅱ（ややきれいな水）の生物	階級Ⅳ（とてもきたない水）の生物
ナミズムシ類 ヒラタゲロウ類 ヤマトビケラ類 アマミカ類	サワガニ カワゲラ類 ナガレトビケラ類 ブエビ類 ヨコエビ類	カワナナ類 コオニヤンマ コガタシマトビケラ類 オオシマトビケラ ヒラタドロムシ類 ○ヤマトシジミ ○イシマキガイ
階級Ⅲ（きたない水）の生物		
タニンシ類 ミズムシ ○ニホンドロコエビ ○イソコップムシ類	サカマキガイ アメリカザリガニ チウワバエ類	エラミミズ ユスリカ類

注）○は海水の少し混ざっている汽水域の生物